

株式会社ビック・ママ（衣類縫製修理業）宮城県仙台市

＜海外展開のきっかけ＞ 人口減に伴う国内市場の縮小や技術者不足

＜成功のポイント＞

- 縫製技術に加えて、仕上げや接客マナー等の文化的違いを重視した現地スタッフ教育を徹底。
- タブレット端末による受発注システムの英語版を開発し、日本同様のサービス提供体制を構築。

【事業者概要】

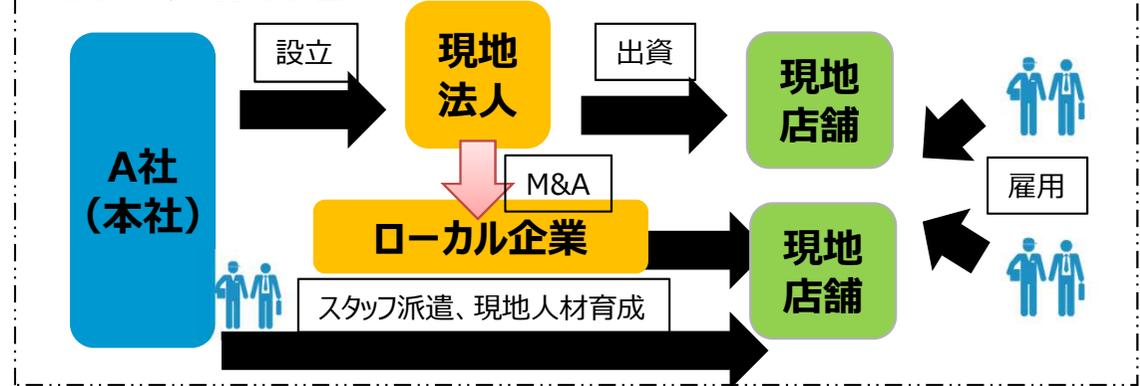
売上高14.5億円、従業員252人、資本金5,000万円
主力サービス：洋服や服飾雑貨の修理・リメイクサービス
進出先国：シンガポール

消費者ニーズにきめ細やかに対応する「お直しコンシェルジュサービス」を提供。国内71店舗、シンガポールに2店舗を開設。現地企業の買収等を進め、海外ビジネスを拡大中。

【経緯】

- 平成25年 事業拡大に向けて海外展開を決意。
- 平成26年5月 コンサルタント等の専門家の支援を受け、シンガポールのショッピングセンターに海外第1号店をオープン。縫製技術に加えて、仕上げや接客マナー等の文化的な違いを重視した現地スタッフ教育を徹底。
- 平成27年5月 シンガポール2号店を日系百貨店内にオープン。
タブレット端末を活用した受発注システムの英語版を開発。
→現地スタッフでも日本同様のサービスが提供できる体制を整備。
- 平成27年10月 商工中金の融資制度を活用し、同業のローカル企業を買収。
→シンガポールでの拠点を6店舗に拡大。更なる需要獲得に向け、海外ビジネスを展開中。

資金・人材のフロー



【経営者から】

- オススメの支援施策
商工中金の融資制度

- 一言

政府系金融機関の支援や進出国の支援制度等を活用し、海外事業の拡大にチャレンジしています。サービス展開の上では、現地スタッフの育成が最も重要であり、教育ツールの開発や多言語化を進めています。シンガポールでの実績を活かし、他国へのビジネス展開も図りたいと考えています。

